

県建協

知事賞に宮嶋理紗さん(1年)

第34回建設論文 受賞者を発表

静岡県建設業協会(木内藤男会長)は15日、県内の第34回建設論文の受賞者を発表した。県知事賞には県立科学技術高校1年の宮嶋理紗さんが受賞した。県立科学技術高校は2年連続の県知事賞受賞となる。この他、優秀賞に3人、佳作に5人、努力賞に13人が選ばれた。表彰は、今月19日から受賞者が在籍する各校で行われる。

・育成事業の一環として実施しているもの。静岡県、国土交通省中部地方整備局、昭和会、建通新聞社などが後援。2013年度の第33回から県知事賞を創設している。今回は、「私の街の未来をつくる」をテーマに募集、応募総数は408作品(11校)だった。

・ため、避難ビル、漁業体験施設、宿泊施設を整備、これらの施設を街の中に散在させて、観光客などが周遊できるようにするというのが提案。宮嶋さんは「自分で街の未来を考えて、自分で創りあげた街に私は住みたい」とまとめている。

優秀賞は、杉山来輝さん(県立沼津工業高校2年)の「来たれ愛鷹山へ」キッズタウン構想、吉岡拓太郎さん(県立科学

技術高校2年)の「美和地区活性化計画」、武田瑞希さん(県立浜松工業高校1年)の「個性の3

作品。自分が住み、暮らす沼津市、静岡市、浜松市をどうしたら活性化できるか知恵を絞っている。

なお、論文募集に積極的に協力した県立沼津工業高校など4校には感謝状を贈る。

入賞者は次の通り(敬称略)。  
県知事賞  
▽宮嶋理紗(県立科学技術高校建築デザイン科1年) 優秀賞  
▽杉山来輝(県立沼津工業高校建築科2年)▽吉岡拓太郎(県立科学技術高校建築デザイン科2年)▽武田瑞希(県立浜松工業高校建築科1年)

努力賞  
▽松井敦史(県立沼津工業高校土木科3年)▽堀池ひかる(県立科学技術高校都市基盤工学科2年)▽志田萌華(県立科学技術高校建築デザイン科2年)▽永田桃子(県立科学技術高校建築デザイン科2年)▽望月樹大(県立科学技術高校建築デザイン科2年)▽青島祥太(県立島田工業高校都市工学科3年)▽米田隆

悟(県立浜松工業高校土木科3年)▽川井尚人(県立浜松工業高校土木科1年)▽河村悠史(県立浜松工業高校土木科1年)▽青木光(県立浜松工業高校建築科1年)▽松本美穂(県立沼津工業高校建築科1年)▽平野愛(浜松日建工科専門学校建築設計科1年)▽塚本沙季(浜松日建工科専門学校建築インテリアデザイン科1年)

感謝状  
▽県立沼津工業高校▽県立科学技術高校▽県立島田工業高校▽県立浜松工業高

校

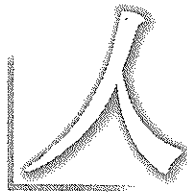
# 建設論文 最優秀に宮嶋さん(科学技術高)

県建設業協会は16日、本年度の「建設論文」(静岡新聞社・静岡放送後援)の入賞者を発表した。最優秀賞の県知事賞に、県立科学技術高1年の宮嶋里紗さんが選ばれた。「私の街の未来をつくる」をテーマに県内の高校と専門学校からの論文を募集し、408点が寄せられた。宮嶋さんの論文「つながる広がる焼津の街」は、津波の心配と高齢化による後継者不足を「焼津の課題」とし、避難ビル、漁業体験施設、宿泊施設を分散して配置する活性化計画を提案した。

このほかの入賞者は次の通り。

- 優秀賞 杉山来輝(沼津工2) 吉岡裕太(科学技術2) 武田朗(浜松工1)▽佳
- 瑞希(沼津工3) 田代光佐(沼津工3) 君塚麻衣、築地泰生(以上科学技術1)
- 川崎美久(浜松工1) 鈴木瑠夏(浜松日建工科専門1)▽努力賞

- 松井敦史(沼津工3) 堀池ひかる、志田萌華、永田桃子、望月樹大(以上科学技術2) 青島祥太(島田工3) 米田隆悟(浜松工2) 川井尚人、河村悠吏、青木光、松本美穂(以上同1) 平野愛、塚本沙季(以上浜松日建工科専門1)▽感謝状 沼津工、科学技術、島田工、浜松工



11校、408作品の中から最優秀賞に当てる静岡県知事賞を受賞。県立科学技術高校生徒の県知事賞は、創設された昨年度に続き2年連続だ。タイトルは「つながる広がる焼津の街」。自分が生まれ育った焼津の街をどのようにしたら活性化できるかを提案した。津波被害や、人口減少、高

# 生まれ育った焼津の活性化にチャレンジ

齢化といった街が抱える課題に正面から挑んだ。「一街の問題点を洗い出し、解決は難しいけれど、どついたら今より良くなるかを考えました」



避難ビル、漁業体験施設、空き店舗利用の宿泊施設という三つを提案。これらが「バラバラに盛り上がる」のではなく、市内

建設論文県知事賞を受賞した  
県立科学技術高校建築デザイン科1年

宮嶋 理紗さん

全体が盛り上がるようにしたかった」  
書く順番や、個々の提案を一つにまとめ上げるのに苦労し、完成までには「夏休みの1カ月かかりました」  
子どもの時から建築に興味があった。祖父が撮った住宅の建設工程の写真が面白かった。新聞の折り込み広告の住宅の設計図を見るのが好きだった。「楽しくて、いつか設計図を書いてみたいと

思っていました」  
入学して製図より大工仕事に向いていると方向修正。「大工さんになって、自分の家を造りたい」が夢。部活動は、建築甲子園に優勝した「建築研究部」。3年生になったら作品を応募したいと思っている。  
家族は祖母、両親と2人の弟の6人家族。今のところ、高卒後の進路は就職か専門学校を予定。(報道部1名倉啓司)

大工になって自分の家を建てたい

県建協 第34回建設論文表彰式  
宮嶋さんに知事賞授与

静岡県建設業協会（木内藤男会長）は27日、静岡市葵区の県立科学技術高校で、第34回建設論文



受賞者一同で記念写真  
（中央が県知事賞の宮嶋さん）

の表彰式を行った。最優秀賞となる静岡県知事賞の宮嶋理紗さんには静岡県交通基盤部の山本雅弘建設業課長が、また、優秀賞の吉岡祐太郎さんには薩川諭副会長がそれぞれ表彰状を手渡した。同校生徒の県知事賞の受賞は、創設された昨年度に続き2回目。同校からは、県知事賞の他、優秀賞1人、佳作2人、努力賞4人が選ばれた。さらに、建設論文募集への協力に対して、学校に感謝状が贈られた。表彰式後、山本課長は受賞論文に触れて「静岡

県や地元のために、『こうしていい』と『こうしっかりした考えを持っていくことが心強い。将来、県民のためになる仕事をしたい』と励ました。田中克己校長は「表彰は生徒にとって大変励み

になる。学校の励みにもなる。受賞に恥じないよう頑張っていきたい」とあいさつした。建設論文の表彰式は、1月19日から入賞者が在籍する4校で順次行っ

た。（2面に「人」を掲載）